



学生に特殊詐欺の被害防止講話を行う本間警部補

八戸 特殊詐欺手口 学生も注意を

八学大で警察講話
八戸署は7日、八戸市の
八戸学院大学で、特殊詐欺

の被害防止講話を行った。
同署生活安全課の本間和広
警部補が、参加した同大の
学生約200人に、電子マ
ネーを利用するなどの特殊
詐欺の巧妙な手口を解説

し、被害に遭わないための
心構えを説いた。
本間警部補は講話で、犯
行グループが有料サイトの
利用料名目などで電子マネ
ーを購入させ、番号を聞き
出して購入額をだまし取る
手口を紹介。「不安があれ
ば自分一人で解決しようと

せず、すぐ警察に相談を」
と訴えた。
人間健康学科1年の工藤
聖^{ホリ}さん(19)は「特殊詐欺は
身近なことだと改めて気付
かされた。1人暮らしなの
で、特に注意したい」と話
した。
同署によると、2017

年の県内の特殊詐欺の被害
者は56人で、このうち10
20代は8人。同署は、若者
の被害増加が今後見込まれ
るため、同大に講話を提案。
全学生を対象に7月から3
回に分け実施した。秋には
八戸工業大学でも予定して
いる。
(大久保拓地)